



## 都道府県別 学習時間ランキング発表 | 3位埼玉、2位は東京都 都会が多い傾向、顕著に確認される

bondavi株式会社は、集中アプリ「集中」のデータより、都道府県別の自主学習時間を集計しました。結果、全体的に「都会の方が学習時間が多い」という傾向が確認されました。

これには、都会では受験などの競争が強いことが影響している可能性があります。また、もっとも学習時間が多いのは山口県と、全体的な傾向とは合致しない結果となりましたが、現状、その理由は分かっていません。

### 自主学習時間ランキング

順位	都道府県	学習時間(分)/日	順位	都道府県	学習時間(分)/日
1	山口県	124.0	24	福岡県	110.8
2	東京都	118.6	25	北海道	110.8
3	埼玉県	118.4	26	静岡県	110.2
4	兵庫県	117.5	27	岐阜県	110.1
5	神奈川県	117.3	28	熊本県	108.2
6	大阪府	117.0	29	新潟県	107.6
7	広島県	116.6	30	香川県	106.8
8	滋賀県	116.5	31	奈良県	106.8
9	秋田県	116.0	32	岩手県	105.9
10	茨城県	115.7	33	大分県	105.6
11	徳島県	115.5	34	宮崎県	104.8
12	宮城県	115.2	35	愛媛県	103.9
13	愛知県	114.7	36	島根県	102.3
14	長野県	114.6	37	長崎県	101.8
15	和歌山県	114.2	38	石川県	101.6
16	山梨県	113.8	39	群馬県	101.5
17	栃木県	113.5	40	鹿児島県	101.3
18	千葉県	113.3	41	福島県	101.3
19	岡山県	112.7	42	高知県	100.1
20	富山県	112.1	43	佐賀県	99.8
21	三重県	111.9	44	福井県	95.8
22	沖縄県	111.6	45	青森県	95.3
23	京都府	111.6	46	山形県	94.6
			47	鳥取県	90.9

bondavi

### 集計方法

集中アプリ「集中」の行動データより、都道府県別に集計しました。

別途実施しているアンケートより、「集中」のユーザーは90%以上が学習用途(72.4%が学生、18.8%が社会人)にアプリを利用していることが分かっており、上記データは(特に学生の)学習時間を反映したものとなっています。

また、本アプリはほとんどの場合、自主学習の集中力・モチベーション向上のために利用されており、学校での勉強などを含まず、学生・社会人ともに基本的に自主的な学習の時間が集計されています。

サンプル数: 76,628件

集計期間: 2024年4月1日 ~ 2024年7月31日

【本件に関するお問い合わせ】

bondavi株式会社 広報担当 森下りの Mail: [pr@bondavi.jp](mailto:pr@bondavi.jp)



## 都会の方が、学習時間が多い傾向に

1位の山口県は例外的な結果となりましたが、全体の傾向としては、人口密度の高い都道府県(≒ 都会)は学習時間が多い傾向が見られました。都道府県を人口密度順に並べると、人口密度の高い都道府県では学習時間が長い傾向が確認されました。(下図では学習時間が長いと緑色、短いと赤色で表示されています)

### 人口密度順の学習時間

人口密度の高い都道府県  
学習時間が長い傾向に

都道府県	学習時間 (分) / 日
東京都	118.6
大阪府	117.0
神奈川県	117.3
埼玉県	118.4
愛知県	114.7
千葉県	113.3
福岡県	110.8
沖縄県	111.6
兵庫県	117.5
京都府	111.6
香川県	106.8
茨城県	115.7
静岡県	110.2
奈良県	106.8
滋賀県	116.5
佐賀県	99.8
広島県	116.6
宮城県	115.2
長崎県	101.8
三重県	111.9
群馬県	101.5
栃木県	113.5
石川県	101.6

人口密度の低い都道府県  
学習時間が短い傾向に

都道府県	学習時間 (分) / 日
岡山県	112.7
富山県	112.1
熊本県	108.2
愛媛県	103.9
山口県	124.0
和歌山県	114.2
岐阜県	110.1
福井県	95.8
山梨県	113.8
大分県	105.6
新潟県	107.6
鹿児島県	101.3
徳島県	115.5
鳥取県	90.9
長野県	114.6
宮崎県	104.8
福島県	101.3
青森県	95.3
山形県	94.6
島根県	102.3
高知県	100.1
秋田県	116.0
岩手県	105.9
北海道	110.8

■ 学習時間：長い

■ 学習時間：短い

bondavi

また、この傾向は人口密度 Top 5、Worst 5 の都道府県を比較しても確認されます。

## 都会の方が学習時間が長い

人口密度	平均時間
TOP 5 (都会)	117.2
Worst 5 (田舎)	107.0

bondavi

【本件に関するお問い合わせ】

bondavi株式会社 広報担当 森下りの Mail: [pr@bondavi.jp](mailto:pr@bondavi.jp)



### 予想通り、都会が多い。競争社会の表れか。

「都会の方が自主学習の時間が多い」という点については、予想通りの結果となりました。都会では年齢が低い頃からの受験文化から始まり、学習の動機となる競争が強い傾向にあると思われます。上記データの背景には、そのような競争社会が一因としてあるのかもしれませんが。

### 山口県は何故か異様に多い。

しかし、学習時間をもっとも多い山口県は人口密度が高い訳ではなく、それだけでは説明のつかない結果となりました。

現時点では十分な説得力を持つ説は見つかっておりません。

データを公開しますので、理由についてご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、検討いただけますと幸いです。

### 墮落しない集中アプリ「集中」

すぐ怠ける癖のある社長が、「自分ですら墮落せずちゃんと仕事をできるように」作ったアプリ。同じように怠け癖のある人々に愛用され、口コミで広まり、300万ダウンロード突破。最近では世界でのダウンロードも増え、台湾、アメリカ、インドなど、文化やバックグラウンドを超えて、人々の墮落阻止に一役買っている。



【本件に関するお問い合わせ】

bondavi株式会社 広報担当 森下りの Mail: [pr@bondavi.jp](mailto:pr@bondavi.jp)






## <参考資料>

### 会社概要

元・広告代理店データアナリストの社長が創業したアプリ開発ベンチャー。  
「特別じゃない毎日を豊かに」という理念のもと、日常が少し良くなるようなアプリの開発・運営を行っている。社長のこだわりから、広告掲載やアプリ内課金をおこなわず、「ユーザーの善意（寄付）」のみによる黒字化に挑戦中。有料プロモーションを一切せず、アプリの品質向上のみで現在500万ダウンロード数を突破。

1分でわかる会社紹介：<https://bondavi.jp/one-min>

### 主なアプリ 詳細は[こちら](#)

<p>継続する技術</p> 	<p>元・筋金入りの三日坊主が作った習慣化アプリ。 ①ダウンロード数 ②App store評価 ③継続成功実績 全て1位の国内No.1習慣化アプリ。毎月約12,000人のユーザーが、運動や勉強の「30日間継続」に成功している。広告代理店でデータアナリストだった社長が、100万人以上の行動データから三日坊主になるメカニズムを研究し、誰でも続けられるようなデザインを追求した。</p>
<p>集中</p> 	<p>社長が独立直後、「上司がいなくてもサボらないように」と開発した集中アプリ。こまめに休憩を促し、効率良い集中力の維持をサポート。アプリ内アンケートでは90%以上が集中力向上を実感、1000時間達成したユーザーからは、国家資格や漫画家デビューなど多数の結果が届いている。また、近年注目が集まっているリスキリングの一環として、学校や法人向けの導入も加速している。</p>
<p>ひよこフィルター</p> 	<p>メンタルの弱い社長が作った、苦手な言葉をひよこに変えるアプリ。サファリ内で検索すると、苦手と設定した言葉は全てひよびよに置き換わる仕様。元々メンタルの弱い社長が自分のメールに使うため、PC用に開発された。スマホ版ひよこフィルターのリクエストが殺到したため、少しでもみなさんの日常がひよこフィルターによって豊かになればという思いから、後にスマホ版も公開された。</p>

### 主なメディア掲載歴

news zero、めざましどようび、THE TIME、す・またん！（読売テレビ）、nicola、Tarzan日経WOMEN、まいにちdoda、FMヨコハマ、FM cocolo、News Crush、Yahoo!ニュース、ライフハッカー、ICT教育ニュース、NewsPicks、STUDAY HACKER、@DIME、マイナビウーマン、スマートニュース、デイリースポーツOnline、よろず〜ニュースなど

詳細は[こちら](#)

### ご取材可能なこと

#### ①習慣化に関すること

- ・データ分析に基づいた、「人が継続できない理由」や「継続するためのコツ」について
- ・継続できるようになるデザイン設計や、アプリの節々に込められた思い

#### ②集中・モチベーションに関すること

- ・200万人の行動データに基づく、やる気やモチベーションを維持する方法
- ・何故、ポモドーロテクニックは大抵、うまくいかないのか

#### ③広告費0円で、国内No.1アプリへと成長するまでの開発秘話

- ・同業者が「驚異的」と口を揃える「広告費ゼロで500万ダウンロード」の背景

#### ④「広告や課金を行わず、寄付だけ」というユーザーファーストを貫く信念

- ・その結果生まれた、「無駄機能」という新しいビジネスモデル

【本件に関するお問い合わせ】

bondavi株式会社 広報担当 森下りの Mail: [pr@bondavi.jp](mailto:pr@bondavi.jp)